



[Ishikari]

2016

Vol. 328

JAいしかい



発行/石狩市農業協同組合



主な記事

- ニュースファイル 1
- インフォメーション 4
- パネルディスカッション 5

2月24日にJAいしかり青年部とJAいしかり女性部とJA役職員との意見交換会が行なわれ、開催挨拶を増田崇紘青年部長が行い、三組織の間で活発な意見や要望が飛び交いました。

青年部・女性部・JA役職員 意見交換会開催

2月24日、青年部・女性部がJA役職員との意見交換会を開催しました。

JAからは吉田代表理事組合長を始め常勤役員・営農経済担当理事及び関係職員が出席し、青年部10名、女性部13名がそれぞれの立場から関係各部に建設的な意見・質問が寄せられました。

この意見交換会は今年で5回目の開催となりますが、今年は「JA北海道大会の決議事項」をテーマに協議し、青年部からは「北海道米のブランド化」・「法人経営のメリット」・「農業所得20%増大」等、女性部からは「新規就農者への施策」・「どれのさとの加工品販売強化」など活発な意見・質問が出されました。JAからは所得向上の具体的な取り組みとして製氷機の導入による市場占有率並びに収益の向上や、どれのさとのにおける通年営業の実施による所得増大など回答がありました。PPPの大筋合意など農業を巡る情勢は大きく変化しておりますが、JA・青年部・女性部がともに連携を密にし共通認識のもとこの難局を乗り越えましょう。



川崎寿子女性部長が意見・質問する様子



開催挨拶をする増田崇紘青年部長

青年部・女性部 JA北海道大会研修会を開催

2月24日、青年部・女性部が意見交換会の前段、第28回JA北海道大会の決議事項について研修会を開催しました。

講師には中央会札幌支所の津村次長をお招きし、「力強い農業」・「豊かな魅力ある農村」・「組織のあり方」の決議事項の具体的な目標などを研修しました。特に研修では基本目標である農業所得20%増大について具体的な方策やその方法について質問が寄せられました。地域の実情に合わせて5カ年計画での目標設定となりますが、その後の意見交換会においてもこの研修会を踏まえた質問もあり、出席者の皆様も真剣に耳を傾けていました。



青年部・女性部員が真剣に聞き入る様子



中央会札幌支所・津村次長より説明

メロン栽培技術講習会開催される

平成28年2月8日にメロン栽培技術講習会が会員6名参加のもと開催されました。講師に横浜植木(株)の山本様にお越し頂き、平成27年の気象状況とメロンの生育ステージ毎の栽培について昨年の反省を踏まえた栽培技術の説明がありました。今年もハウス巡回などの現地指導も予定されており、栽培技術の向上が期待されます。

また、3月上旬からは播種作業も開始され、7月下旬頃から贈答用のギフト販売や道内市場向けに出荷が予定されています。



メロン栽培技術講習会の様子

加工馬鈴しょ講習会開催される

平成28年2月15日に加工馬鈴しょ栽培講習会が開催され、生産者3名と営農課・青果課・支援センター職員が参加しました。組合員の経営改善を目的とした産地戦略の一つとして、ホクレン札幌支所や関係機関と協議して規模拡大の新規作物として加工馬鈴しょを今年度より試験的に作付する計画をしており、販売先については、安定的な価格を確保するためにカルビーポテト株式会社との契約販売を結び、今回講習会を開催致しました。

はじめにカルビーポテト株式会社上川馬鈴薯事業部の積山部長より会社紹介と取引要領の説明を詳しくして頂き、つぎに富良野支所松本支店長より加工馬鈴しょ(品種・きたひめ)栽培技術について説明がありました。カルビーでは、連作障害等で各産地の作付けが減少しており、是非たくさんのポテトチップスを皆さんで作って下さいとの要望のもと、栽培のポイント箇所では圃場へ来てアドバイスを頂けるとのことで今後が大変期待されます。



加工馬鈴しょ栽培講習会の様子

農事組合長会議開催される

2月2日、第1回農事組合長会議が茨戸ガーデンにて開催されました。

吉田代表理事組合長の開会の挨拶の後、来賓の石狩市役所企画経済部長加藤龍幸様より祝辞を頂き、その後、事務局よりJAいしかりの主要財務の推移説明と地区別懇談会日程につきまして説明しました。懇親会では各農事組合長と役員が懇親を深め有意義な一時を過ごしました。



石狩市役所加藤企画経済部長より祝辞を頂きました



吉田代表理事組合長の開催挨拶

北海道産業貢献賞授賞

平成27年2月3日に2015年度北海道産業貢献賞の農業関係功労者の表彰式が行われ、当組合の吉田久雄代表理事組合長が道農業・農村の発展に尽力され、受賞されました。

平成7年以来、農協監事、理事、組合長として組合員の経営安定と農協の健全な運営に努め、複数の共撰場を統合し撰果と集出荷の一元化を図ったほか、加工施設を併用した直売所「地物市場とれのさと」を建設し、農業者と地域住民との交流や女性農業者による加工施設の拠点の場をつくるなど、地域農業の振興に多大の貢献を行った事が、この度の栄えある功労賞の受賞となりました。



栄えある北海道産業貢献賞を受ける吉田代表理事組合長

新たな農業者の育成に尽力

平成28年2月18日、全日空ホテルにて北海道指導農業士・北海道農業士の称号贈呈式が行われ、石狩市北生振の須藤聖治さんが、北海道知事から北海道指導農業士として認定を受けました。JA石狩における指導農業士の認定は、大嶋綾さん（石狩市生振）に続いて2人目となります。

「北海道指導農業士」は就農希望者に対して、農業経営等についての知識や技術の習得に向けて研修を行い、新たな農業者の育成に尽力される方を認定するものです。今後の活動に大いに期待しております。



北海道指導農業士に認定された須藤聖治さん

住宅、建物等でお困りのこと ありませんか？

新築

住宅、アパート
農業用倉庫等の
新築工事

ガレージ、カーポート、フェンス等工事

外構工事
外壁工事
屋根工事等

リフォーム

舗装工事、塗装工事
板金工事等

風除室、コーキング、室内建具など



解体など

住宅、物置
倉庫等の解体

その他庭園、雑木、伐採撤去処理
産業廃棄物、リサイクル物、雑品物処理

見積無料です。

どんな小さなことでも是非ご相談下さい。担当者がお伺い致します。



石狩市農業協同組合

本店資材課

直通TEL

66-4488

4月1日営業開始!

JAいしかり 地物市場とれのさと 新規出荷会員募集!!

自慢の野菜、出荷してみませんか?

とれのさとでは平成28年度の営業開始に向け出荷会員を募集しています。

現在96名の出荷者協議会会員の皆様が新鮮野菜を出荷しています。

お陰さまで平成27年度の売上は2億6,400万円になりました。

営業時間：午前9：30～午後5：00

住所：石狩市樽川120番地3

連絡先 JAいしかり 営農課
0133-66-3344
とれのさと

平成27年11月11日に開催されました第28回JA北海道大会にて「北海道農業とJAグループに期待すること」と題して、パネルディスカッションが行われました。

その内容につきまして第2回目のご紹介をいたします。



丸谷智保氏

(まるたにともやす)
株式会社セイコーマート社長

海上輸送の効率化

それから、例えば、簡素な、効果的な流通機構という点については、歩留りを上げるため非正規品、ハネものが流通する市場をつくる。常に苦勞する歩留まり向上にどれだけ繋がるマーケットを創造できるか。

我々も物流には苦勞している。遠い農村から市場の都市あるいは首都圏へ物流するコストは非常に大きい。北海道は、どうしても海上輸送が必要になるが、これを効率化する。

そういう意味でも組織の意味は強い。効率化を進めることで、所得を増加させ、配分を変えていく。

また、プラットフォームである農協が商品の価格を評価し、即買い取り、即支払う仕組みを作ってはどうか。資金繰りの向上につながる。

その他に、農繁期の人材の確保、販路拡大。これらは今でもやっているが、より強固にしていこう。

流通機構、構造を簡素化して中間マージンの排除

第2回は、丸谷智保氏の提言を紹介いたします。

セイコーマートグループ全体で農業法人として108haを耕作しているが、農業における流通機構、構造をより簡素化して、中間マージンを排除し、農業所得に振り向けることが重要だと思ふ。

そのためのより強固なプラットフォーム（基盤）として、農協あるいは中央会の必要性はより強まって

そして安定供給、物流面での大胆な提言、これは政府に対してもやっていく。こういったことをすべき組織としてより強いものを作っていく。どうだろうか。

戦から外交戦略へ

平成30年に向けて激論をし、結論を出してほしい。もうその時期に入っている。これから平成30年の大会に向けて、守るとか防衛するとう戦をするのではなく、外交戦略・外交交渉をすべきではないか。

戦と外交の違いは、戦は勝つべき戦だが負けるかもしれない。外交は100%はとれないが、最低限守るべきものは守る、あるいは主張すべきものは主張してとる、ということ

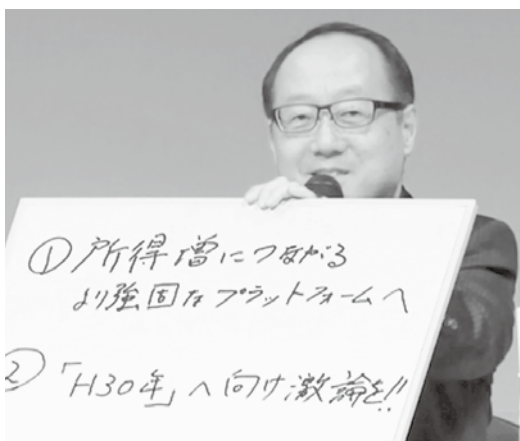
そういったことを踏まえた真摯な議論・激論、そして結論を出すことをご提言申し上げたい。

今回、所得増の具体的な数値目標を掲げたのは素晴らしい。議論を尽くして、2つでも3つでも具体論に結び付ける。やって、だめだったらまたやる。

物流を見直す、法律化する、政府から引き出す。例えば、農産物を運ぶのに高速道路を使えばタダにする。フェリー代を安くすれば、競争力のある農産物をもっと本州に出せるかもしれない。所得の分配に結びつく具体的な議論をして一致団結してぶつける外交交渉に入っていくべきではないか。

最後に一言

セイコーマートでは、ほとんど北海道の原材料、農産物を使っており、大地の恩恵をものすごく受けていると感じる。北海道は特別な地域だが、中央では、ひとつくりで見られていく。550万人のサポーターを味方につけて、北海道から日本全国の農業の重要さを、ぜひ組織力を発揮して発信して頂きたい。



美しい農村景観の意味と価値 加工食品の材料にも北海道産



森 久美子 氏

作家・エッセイスト
農林水産省・食料・農業・農村政策審議会臨時委員
北海道農業・農村審議会委員

第3回は、森久美子氏の提言を紹介します。
**美しい農村景観を守るため
輪作体系の教育を**

景観について考える気持ちをお話ししたい。以前、写真で見た美瑛町の農村景観にびっくりした。この美しさは農業があるからこそだと気づいた。

東京に住んでいたころ、実家から届いた北海道の野菜をおすそ分けすると、食べてみないうちに「北海道のでしょ、おいしいんだよね」と必ず言われた。その時、同時に農村

景観の美しさや清涼な空気、広大な土地をイメージして買っていると思った。

札幌市民あるいは道民は、当たり前すぎて、農業生産が行われているからその風景だというありがたみが欠けている。

「いつまでもあると思うなこの景観」というのは、半分は冗談に聞こえるかもしれないが、かなり本気で思っている。農業が継続されないと、この景観を失い観光客も来なくなり、経済でも北海道は行き詰る。

それではどうすれば良いのか。食農教育の分野で、みなさん個人個人は頑張っている、農作業のご苦労や、なぜおいしいのかという話はされるが、案外、輪作体系を教えている機会はほとんどないのではないか。

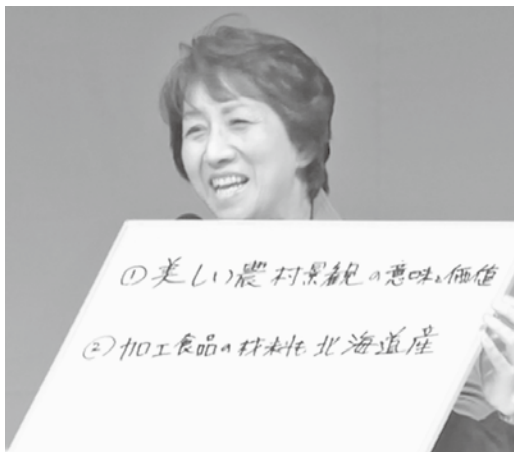
去年と同じ農村景観を撮ろうと思っただけなら、なぜか色が違う。輪作があるからだよと都会の人たちにも教えて頂きたい。JAの力であればできるのではないかと思っただけ。

消費者に選ばれる 北海道産入りの加工食品

単身者の世帯数が全国平均で戸数として3割以上ある。生鮮食品に使う食料費が非常に少なくなっており、外食、外食以外の中食、調理済み食品に食料支出の44%を使っているのが2013年度の統計に出ている。

加工食品を食べている人たちが、どれだけ日本のものや道産のものを意識してくださるか非常に重要。

JAグループが一丸となって、「北海道産を使っているカップ麺」、とか表示なり宣伝文句をつけて、その分、仮に外国産の材料より10円高くても買う、という消費者を増やしていかなければならない。



北海道の目指す農業、農村の姿ということ、550万人と共にということは大変すばらしい。実現できるように、私たちも消費者の一人でもあるので力になれたらと思っただけ。

力強いだけでなく、今まで農業を続けられたご年配の方たちが、「自分の人生はこれで良かった」と思うような農村を作ってほしい。力強い農業・農村には、そのことも含んでいることを意識して頂きたい。Aコープの買い物支援も含めて地域の人たちを守る、地味だけどJAだからできることをぜひ忘れないでやって頂きたい。

最後に一言

再生産できる価格で買って頂いて農業が続けられ、農村を守るために補助金を出してもらおう。国民のコンセンサスを得られるための啓蒙活動をして頂きたい。

JAグループを含め農家を守ることも、道民の健康や生活を守っていることを分かってもらおうようにすることが、サポーターを育てることだと思っただけ。農業に対する理解がない人たちが誤解なく農業を理解してくださるようこれからも頑張りたい。

燃料自動車課からのお知らせ

日頃より、燃料自動車事業に対しご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本年4月1日より花畔セルフスタンドの夜間営業を、スタッフの配置や防犯上の観点から次の通り変更致しますのでご理解、ご協力をお願い致します。

開店時間 (変更無し)	午前7時00分	➔	閉店時間 (変更前)	変更後 午後9時00分 午後10時00分
----------------	---------	---	---------------	----------------------------

夜間営業を1時間短縮致しますが、職員スタッフ一同、尚一層のサービスや効率的な対応に努めて参りますので変わらぬご利用をお願い申し上げます。

Agriculture Management

農業改良普及センター

今月の技術情報

農業改良普及センター

平成28年3月1日
石狩農業改良普及センター石狩北部支所
TEL (0133) 23-2146 FAX23-2887

水 稲

1 『融雪促進』を実施し計画的な春作業につなげましょう!!

＝各アメダスポイントの積雪状況(2月11日現在)＝

・新篠津アメダス 本年127cm(平年93cm) ・石狩アメダス 本年73cm(平年87cm)
・厚田アメダス 本年101cm(平年91cm)

■本田の融雪剤散布時期の目安■

石狩北部：3月上旬が散布適期。

ただし、散布後20cm以上の降雪があった場合は再散布が必要。

※日平均気温が-3℃になった頃が融雪剤(ケイカルなど)の散布適期。
散布後の降雪が10cm程度であれば、融雪剤の効果は持続する。

☆本田の融雪剤散布資材(例)・散布量/10a
ケイカル・ミネカル 90~120kg、アッシュ40~60kg

2 融雪水を排除し、ほ場の乾燥促進!!

ほ場を乾燥させるために、溝切り・畦切り等を行い表面水の排除に努め、融雪水が停滞しないようにしましょう。

3 田植えを基準に育苗作業計画を立てましょう!

☆適期移植ができるような育苗の作業計画を立てましょう。

☆「ななつぼし」「ゆめびりか」は早期異常出穂しやすいため、育苗日数を短めに設定して作業計画を立てましょう。

4 温湯消毒後の種籾の扱い(ばか苗病対策)

温湯消毒した種籾は無菌状態です。二次感染しやすいので下記(1)~(3)の注意を必ず守りましょう。
昨年は一部の農家で「ばか苗病」の多発が見られました

- (1) 消毒施設から配送された種籾は二次感染を防ぐため清潔な場所で保管しましょう。
乾燥機・粃すり機・精米器付近やコンバイン等機械の格納庫などは稲の残渣物が飛散しており二次感染の可能性が高くなります。
『ムシロ』や『縄』など稲わら製品の上や近くでの保管は厳禁!
- (2) 自家採種種子の近くに置かない! 一緒に扱わない!
- (3) 浸種、催芽は清潔な水を用いましょう。

理事会だより

第1回定例理事会 ～2月16日～

◆ 報告事項 ◆

- ① 建設委員会報告
- ② 営農経済委員会報告
- ③ 役員候補者推薦明細について
- ④ 余裕金運用状況報告について
- ⑤ 自己査定結果報告について
- ⑥ 平成27年度 組合員異動明細について
- ⑦ とれのさと漬物加工施設について
- ⑧ 地区別懇談会日程について
- ⑨ 農業委員会総会について

◆ 審議事項 ◆

- ① 役員報酬審議会答申について
- ② 税効果積立金について
- ③ 目的積立金限度額の変更について
- ④ 平成27年度 決算並びに剰余金処分（案）について
- ⑤ 固定資産の取得について
- ⑥ 第28回通常総会議案及び参考事項について

第1回臨時理事会 ～2月29日～

◆ 報告事項 ◆

- ① 平成27年度 監査報告
- ② 営農経済委員会報告
- ③ 管理金融委員会報告
- ④ 内部審査結果報告
- ⑤ 平成27年度 自己資本比率について
- ⑥ 青年部・女性部・JA役職員との意見交換会について
- ⑦ 地区別懇談会議案について

◆ 審議事項 ◆

- ① 第4四半期自治監査結果について
- ② 出資金の減口について
- ③ 定款・定款付属書の一部変更について
- ④ 農業倉庫業務規程の廃止について
- ⑤ 規約の一部変更について
- ⑥ 信用事業規程の一部変更について
- ⑦ 財務管理規程の一部変更について
- ⑧ 平成28年度 上期金利設定について
- ⑨ 平成28年度 余裕金運用方針について
- ⑩ 第28回通常総会議案について
- ⑪ 平成28年度 内部監査計画（案）について
- ⑫ 平成28年度 事業計画（案）について
- ⑬ 平成28年度 固定資産取得（案）について

2月のあゆみ

- 1日 辞令交付・TPP関連対策等に係る地域説明会
- 2日 農事組合長会議
- 3日 北海道産業貢献賞授賞式
- 8日 役員報酬審議会・第4回役員選任推薦会議
メロン部会栽培技術講習会
- 10日 石狩北部JA組織検討部会役員会
- 15日 加工馬鈴薯栽培講習会
- 16日 定例理事会・監事会
- 17日 第4四半期監査～19日
内部審査(決算関係)～19日
- 18日 地区別農協組合長会議

- 23日 農業委員会農業振興協議会
高岡施設園芸生産組合総会
企画総務部計画ヒアリング
- 24日 青年部・女性部意見交換会
営農経済委員会
- 25日 農業委員会総会
管理金融委員会
ホクレン理事会
- 27日 ブロッコリー部会総会・3億円達成祝賀会
- 29日 そ菜9部会合同通常総会
臨時理事会

お詫びと訂正

先月号4ページの各種資格試験取得者の取得種類の内容に誤りがありましたので、お詫びと訂正を申し上げます。

氏名	(誤り)	(正)
喜多信二	毒劇物取扱主任者	第一種衛生管理者
吉岡尚英	第一種衛生管理者	毒劇物取扱主任者



どんな「がん」でもJA共済が手厚く保障、JA共済「がん」克服を目指すあなたを応援します。

ご契約例（がん入院共済日額5,000円基本型・先進医療保障あり・終身払・口座振替）

共済掛金（月払）	性別	
	男性	女性
30歳加入の場合	1,582円	1,227円
40歳加入の場合	2,037円	1,487円
50歳加入の場合	2,707円	1,782円
60歳加入の場合	3,637円	2,162円

- この共済において対象となる「がん」は、悪性新生物（上皮内新生物を含む）および脳腫瘍です。
- がんに関する責任（保障）の開始は、ご契約日からその日を含めて90日を経過した日の翌日からとなります。これより前に被共済者が悪性新生物または脳腫瘍と診断された場合には、ご契約は無効とし、共済金のお支払いはしません。なお、共済掛金の払込免除についてはご契約日から保障します。

ご加入後は
掛金は変わりません！
※1

（掛金時点：平成27年4月現在）

がん不担保期間（90日）

がん診断されたとき
50万円

がんが診断確定された場合に、がん診断共済金をお受取りになれます。（共済期間を通じて1回のみ）



入院のとき
1日あたり
5,000円

がんが入院された場合に、がん入院共済金を1日目からお受取りになれます。また、1回のお入院にかかる支払通算日数および入院日数の支払通算限度はありません。



手術のとき
1回につき
入院中の手術
10万円
外来手術
25万円

がんの治療を目的とし、公的医療保障制度に基づく医師診療報酬点数表により手術料が算定されるものを保障します。



放射治療のとき
1回につき
5万円

がんの治療を目的として放射線治療を受けられたとき放射線治療共済金をお受取りになれます。（60日に1回を限度とします）

がん再発時や長期治療のとき
25万円
（1年に1回まで）

※4

【共済掛金払込免除制度】
災害・所定の特定感染症により所定の状態になったとき、以後の共済掛金はいただきません。

一生 保障します。

ご加入時

掛金払込期間

終身払

※1 公的医療保障制度の改正があり、その改正が支払事由または共済掛金の計算基礎に影響を及ぼす場合で、必要なときは、農林水産大臣の承認を受けて、共済掛金を変更する場合があります。※2 先進医療とは、療養を受けられた時点で厚生労働大臣が定める先進医療をいいます。※3 がん先進医療共済金の額は、先進医療の技術料が1万円以上の場合には技術料の額、1万円未満の場合は一律1万円となります。※4 がん診断共済金または前回のがん治療共済金の支払事由に該当した日からその日を含めて1年を経過した日以後、所定の要件を満たした場合にお受取りになります。

●この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。【15010011027】
 び「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

お問い合わせは ■ JAUIしかり
 本店 石狩市八幡2丁目332番地11
 ☎0133-66-3321
 花畔支店 石狩市花畔1条1丁目2番地
 ☎0133-64-2205